

授業科目	教育相談とカウンセリング (AB クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH11301J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP4-1			
担当教員	命婦 恭子							
授業概要	幼稚園や保育所、認定こども園並びに児童福祉施設において、保育者は日々の活動の中で子どもへの「発達支援」とともに、家庭が子どもを育む力を発揮できるように「子育て支援」をすることが求められる。そのための方法の一つが教育相談である。ここでは、心理臨床の基本的な考え方を理解し、子どもや保護者を理解し対応する方法、他職種や他機関との連携について学ぶことを目的として授業を展開する。授業は遠隔にて実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における教育相談の意義と課題を理解している。</li> <li>・教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</li> <li>・幼児、児童及び生徒の不適応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。</li> <li>・学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。</li> <li>・受容、傾聴、共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。</li> <li>・職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。</li> <li>・いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</li> <li>・教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みの必要性を理解している。</li> <li>・地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	0	70	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15		45		60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			15		25		40	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における教育相談の意義と課題を理解している。</li> <li>・教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における教育相談の意義と課題を理解している。</li> <li>・幼児、児童及び生徒の不適応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。</li> </ul>				

<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、児童及び生徒の不適応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。</li> <li>・学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。</li> <li>・受容、傾聴、共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。</li> <li>・職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。</li> <li>・いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</li> <li>・教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みの必要性を理解している。</li> <li>・地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育における受容・共感・傾聴の必要性を理解している。</li> <li>・いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</li> <li>・教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みの必要性を理解している。</li> <li>・地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</li> </ul>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	教育相談の意義	講義	授業内容の復習	15
2	臨床心理学的な基礎理論	講義	授業内容の復習	15
3	教育相談の基本的な態度(受容と共感)	講義	授業内容の復習	15
4	傾聴のための言語的・非言語的態度	講義 グループワーク	授業内容の復習	15
5	教育相談における心理アセスメント	講義	授業内容の復習	15
6	教育相談における保護者支援	講義	授業内容の復習	15
7	教育相談におけるグループ・アプローチ	講義	授業内容の復習	15
8	教育相談におけるチーム支援と守秘義務	講義 ワーク	授業内容の復習	15
9	事例から学ぶ①-登園しぶりや問題行動の事例	講義	授業内容の復習	15
10	事例から学ぶ②-自閉症スペクトラムや ADHD の事例(療育機関との連携)	講義 ワーク	授業内容の復習	15
11	事例から学ぶ③-小児心身症と子どもの精神疾患の事例(医療機関との連携)	講義 ワーク	授業内容の復習	15
12	事例から学ぶ④-虐待の事例(児童福祉機関との連携)	講義 ワーク	授業内容の復習	15
13	事例から学ぶ⑤-就学に関する相談事例(小学校との連携)	講義 ワーク	授業内容の復習	15

14	まとめとふりかえり	講義 ワーク	授業内容の復習	15
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「こども家庭支援の心理学」で対人支援のための心理学的知識を身につけておくことが望ましい。 「保育の心理学」で子どもの認知発達についての知識を身につけておくことが望ましい。			
テキスト	テキストは指定しない。随時、資料を配付する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	保育・教育相談(大田光洋、建帛社) 子どもの理解と保育・教育相談(小田豊・秋田喜代美、みらい) 子どもの精神医学ハンドブック(清水将之、日本評論社) 保育者のためのハンドブック SOS に気づく早めの支援(植松紀子、光生館) 子育て知恵袋(滝口俊子ら、福村出版)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から、自分の身近な人を対象に対人支援的なコミュニケーションを実践してみてください。			

達成度評価に関するコメント	成績評価は、レポート(30%)と提出物(70%)で行います。 提出時期や提出方法については、授業の中で詳しく説明します。
---------------	---